

## 使命、役割

### 部が浜松市民に果たすべき使命、役割

水道事業では、安全で良質な水道水を安定供給する役割を、また、下水道事業では、汚水及び雨水の排除による生活環境の改善や浸水の防除などの役割を担っており、これらの事業を健全かつ適正に推進することにより、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性の発揮に努めます。

## ビジョン

### 部が目指すべき将来像

#### 安全で安心な水道水の供給と快適な生活環境を保つための下水道の整備

安全で良質な水道水を安定供給し、汚水を衛生的に処理することで、豊かな市民生活基盤を確保するとともに、市民一人ひとりの水を大切にす意識のより一層の醸成を図ることにより、持続可能な水環境に支えられた活力ある都市を実現します。あわせて、受益者に応分の負担を求めの中で、公営企業として自助努力を進め、経営健全化を図ります。

## 経営方針

### 計画実行の方向性、進め方

#### 上下水道事業の経営健全化の推進

効率的な建設計画の推進や民間委託化などによる定員管理の適正化を図るとともに、水道料金及び下水道使用料の適正化に努めることなどにより、水道及び下水道事業の経営基盤の強化及び経営の健全化を図ります。

<p style="text-align: center;"><b>市民(納税者)の視点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 良質な水を適正価格で安定供給し、利用後の汚水の回収、浄化までの一連の行程をできるだけ効率的に行うための維持管理体制を検討します。</li> <li>▶ 予想される東海地震等の災害に備え、ライフラインとしての役割が果たせるよう水道、下水道及び簡易水道等の施設の耐震化を進めます。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>行政改革の視点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 施設の維持管理業務を中心とした民間委託の導入や資産の有効活用、未収金徴収対策の強化による収納率の向上などの経営改革に取り組み、水道及び下水道事業の経営基盤の強化に努めます。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>財務・コストの視点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 民間活力の導入、職員の効率的な配置、水道及び簡易水道料金並びに下水道使用料の適正化などにより、健全経営を目指します。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>組織・人材の視点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 事業の公共性、経済性を追求する公営企業として、簡素で効率的な組織を目指すとともに、利用者（市民）へのサービスを常に意識できる職員を育成します。</li> </ul>

経営資源	平成 21 年度の部の経営に要する資源	
◆ 上下水道部の組織		
平成 20 年度	⇒	平成 21 年度
<b>上下水道総務課</b>		<b>上下水道総務課</b>
経営の基本計画の作成に関する事項 等		経営の基本計画の作成に関する事項 等
<b>お客さまサービス課</b>		<b>お客さまサービス課</b>
給水装置及び排水設備工事等に関する事項 等		給水装置及び排水設備工事等に関する事項 等
<b>料金課</b>		<b>料金課</b>
水道料金等の調定及び納入の通知に関する事項 等		水道料金等の調定及び納入の通知に関する事項 等
<b>水道工事課</b>		<b>水道工事課</b>
水道施設の建設及びその総合調整並びに簡易水道施設の建設に係る総合調整に関する事項 等		水道施設の建設及びその総合調整並びに簡易水道施設の建設に係る総合調整に関する事項 等
<b>下水道工事課</b>		<b>下水道工事課</b>
公共下水道の管きよ、ポンプ場及び終末処理場の建設並びにその総合調整に関する事項 等		公共下水道の管きよ、ポンプ場及び終末処理場の建設並びにその総合調整に関する事項 等
<b>浄水課</b>		<b>浄水課</b>
取水施設、浄水場施設及び配水場施設の維持管理並びにその総括に関する事項 等		取水施設、浄水場施設及び配水場施設の維持管理並びにその総括に関する事項 等
<b>下水道施設課</b>		<b>下水道施設課</b>
公共下水道のポンプ場及び終末処理場の維持管理に係る事務並びにその総括に関する事項 等		公共下水道のポンプ場及び終末処理場の維持管理に係る事務並びにその総括に関する事項 等
<b>浜北上下水道課</b>		<b>浜北上下水道課</b>
浜北地区における水道及び下水道事業に関する事項		浜北地区における水道及び下水道事業に関する事項
<b>天竜上下水道課</b>		<b>天竜上下水道課</b>
天竜地区における水道、下水道及び簡易水道事業等に関する事項		天竜地区における水道、下水道、簡易水道及び農業集落排水事業等に関する事項
<b>引佐上下水道課</b>		<b>引佐上下水道課</b>
引佐地区における水道、下水道及び簡易水道等事業等に関する事項		引佐地区における水道、下水道及び簡易水道等事業等に関する事項

上下水道部戦略計画 2009 評価レポート

◆ 職員数(H21 年度組織ベース) (人数)			◆ 予算規模(平成 21 年度組織ベース) (千円)																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>上下水道部職員</th> <th>H20 年度</th> <th>H21 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計</td> <td>340</td> <td>322</td> </tr> <tr> <td>部長等</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>上下水道総務課</td> <td>22</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>お客さまサービス課</td> <td>28</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>料金課</td> <td>29</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>水道工事課</td> <td>57</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>下水道工事課</td> <td>43</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>浄水課</td> <td>27</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>下水道施設課</td> <td>46</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>浜北上下水道課</td> <td>26</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>天竜上下水道課</td> <td>36</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>引佐上下水道課</td> <td>25</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>派遣</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>			上下水道部職員	H20 年度	H21 年度	計	340	322	部長等	1	1	上下水道総務課	22	24	お客さまサービス課	28	29	料金課	29	28	水道工事課	57	55	下水道工事課	43	43	浄水課	27	27	下水道施設課	46	37	浜北上下水道課	26	19	天竜上下水道課	36	36	引佐上下水道課	25	23	派遣	4	3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>上下水道部予算</th> <th>H20 年度</th> <th>H21 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>7,291,206</td> <td>7,380,438</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td>51,300</td> <td>70,000</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,290</td> <td>2,184</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>7,238,616</td> <td>7,308,254</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>2,868,400</td> <td>2,641,600</td> </tr> <tr> <td>正規職員(人工×8000 千円)</td> <td>2,832,000</td> <td>2,600,000</td> </tr> <tr> <td>非常勤(人工×2800 千円)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>再任用(人工×2600 千円)</td> <td>36,400</td> <td>41,600</td> </tr> <tr> <td>水道事業会計事業費</td> <td>19,194,304</td> <td>19,328,788</td> </tr> <tr> <td>うち一般会計繰入金 (うち出資金)</td> <td>159,529 (0)</td> <td>163,787 (0)</td> </tr> <tr> <td>下水道事業会計事業費</td> <td>42,650,110</td> <td>35,203,098</td> </tr> <tr> <td>うち一般会計繰入金 (うち出資金)</td> <td>7,017,121 (302,501)</td> <td>6,831,567 (458,830)</td> </tr> <tr> <td>簡易水道事業特別会計</td> <td>1,008,000</td> <td>1,012,000</td> </tr> <tr> <td>うち一般会計繰入金</td> <td>178,011</td> <td>289,575</td> </tr> <tr> <td>農業集落排水事業特別会計</td> <td>155,700</td> <td>156,500</td> </tr> <tr> <td>うち一般会計繰入金</td> <td>121,291</td> <td>118,091</td> </tr> </tbody> </table>			上下水道部予算	H20 年度	H21 年度	事業費	7,291,206	7,380,438	国庫支出金	0	0	県支出金	0	0	市債	51,300	70,000	その他	1,290	2,184	一般財源	7,238,616	7,308,254	人件費	2,868,400	2,641,600	正規職員(人工×8000 千円)	2,832,000	2,600,000	非常勤(人工×2800 千円)			再任用(人工×2600 千円)	36,400	41,600	水道事業会計事業費	19,194,304	19,328,788	うち一般会計繰入金 (うち出資金)	159,529 (0)	163,787 (0)	下水道事業会計事業費	42,650,110	35,203,098	うち一般会計繰入金 (うち出資金)	7,017,121 (302,501)	6,831,567 (458,830)	簡易水道事業特別会計	1,008,000	1,012,000	うち一般会計繰入金	178,011	289,575	農業集落排水事業特別会計	155,700	156,500	うち一般会計繰入金	121,291	118,091
上下水道部職員	H20 年度	H21 年度																																																																																																						
計	340	322																																																																																																						
部長等	1	1																																																																																																						
上下水道総務課	22	24																																																																																																						
お客さまサービス課	28	29																																																																																																						
料金課	29	28																																																																																																						
水道工事課	57	55																																																																																																						
下水道工事課	43	43																																																																																																						
浄水課	27	27																																																																																																						
下水道施設課	46	37																																																																																																						
浜北上下水道課	26	19																																																																																																						
天竜上下水道課	36	36																																																																																																						
引佐上下水道課	25	23																																																																																																						
派遣	4	3																																																																																																						
上下水道部予算	H20 年度	H21 年度																																																																																																						
事業費	7,291,206	7,380,438																																																																																																						
国庫支出金	0	0																																																																																																						
県支出金	0	0																																																																																																						
市債	51,300	70,000																																																																																																						
その他	1,290	2,184																																																																																																						
一般財源	7,238,616	7,308,254																																																																																																						
人件費	2,868,400	2,641,600																																																																																																						
正規職員(人工×8000 千円)	2,832,000	2,600,000																																																																																																						
非常勤(人工×2800 千円)																																																																																																								
再任用(人工×2600 千円)	36,400	41,600																																																																																																						
水道事業会計事業費	19,194,304	19,328,788																																																																																																						
うち一般会計繰入金 (うち出資金)	159,529 (0)	163,787 (0)																																																																																																						
下水道事業会計事業費	42,650,110	35,203,098																																																																																																						
うち一般会計繰入金 (うち出資金)	7,017,121 (302,501)	6,831,567 (458,830)																																																																																																						
簡易水道事業特別会計	1,008,000	1,012,000																																																																																																						
うち一般会計繰入金	178,011	289,575																																																																																																						
農業集落排水事業特別会計	155,700	156,500																																																																																																						
うち一般会計繰入金	121,291	118,091																																																																																																						
<p>平成 20 年度⇒平成 21 年度 増減の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 部長官房機能等による増員(上下水道総務課)</li> <li>➢ 浜北上下水道課からの事務移管等による増員(お客さまサービス課)</li> <li>➢ 事務の見直しによる減員(料金課)</li> <li>➢ 再任用化等による減員(水道工事課)</li> <li>➢ 南ポンプ場維持管理業務の民間委託化等による減員(下水道施設課)</li> <li>➢ お客さまサービス課への事務移管等による減員(浜北上下水道課)</li> <li>➢ 再任用化等による減員(引佐上下水道課)</li> </ul>			<p>平成 20 年度⇒平成 21 年度 増減の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 一般会計 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲料水供給事業費 +43,329</li> <li>・ 簡易水道事業特別会計繰出金 +114,010</li> <li>・ 農業集落排水事業特別会計繰出金 +118,091</li> <li>・ 水道事業会計繰出金 △644</li> <li>・ 下水道事業会計繰出金 △185,554</li> </ul> </li> <li>➢ 水道事業会計 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収益的支出 +184,310</li> <li>・ 資本的支出 △49,826</li> </ul> </li> <li>➢ 下水道事業会計 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収益的支出 △27,340</li> <li>・ 資本的支出 △7,419,672</li> </ul> </li> <li>➢ 簡易水道事業特別会計 +4,000</li> <li>➢ 農業集落排水事業特別会計 +800</li> </ul>																																																																																																					

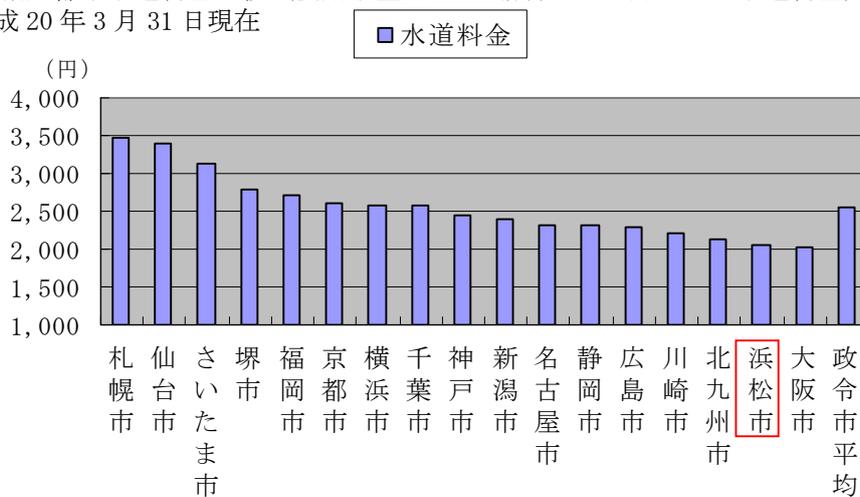
環境分析

社会経済環境の変化

	機会 (OPPORTUNITIES)	脅威 (THREATS)
外部環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 水道法改正による浄水場業務等の第三者委託制度の創設 (H14)、水道事業の地方独立行政法人化 (H15)、指定管理者制度の創設 (H15) など、水道及び下水道事業の効率的運営のための制度が整備された</li> <li>▶ 水源涵養機能を有する森林保護の必要性が高まっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 節水意識の浸透などから、近年、水道使用量が伸び悩み、今後も伸びは期待できない</li> <li>▶ 下水道未整備地区の整備推進、老朽施設から発生する騒音・悪臭を解消するための施設改善、公共用水域の水質保全など、下水道事業に対して様々な市民要望がある</li> <li>▶ 東海地震などの災害や渇水への備えが求められている</li> <li>▶ 人員削減及び給与の適正化などコスト削減に対する市民の要求がある</li> </ul>
内部環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 水道料金、下水道使用料とも政令指定都市の中では低額である</li> <li>▶ 市域の水源を涵養する山林が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 水道、下水道、簡易水道及び農業集落排水等事業等の老朽施設更新及び効率的な維持管理が、今後の事業運営の課題となっている</li> <li>▶ 下水道普及率の向上を図るため、整備を進める必要があるが、今後は投資効率の悪化が見込まれる</li> <li>▶ 下水道及び簡易水道、並びに農業集落排水事業の収支のバランスがとれず、一般会計からの繰入れが必要な状況である</li> </ul>

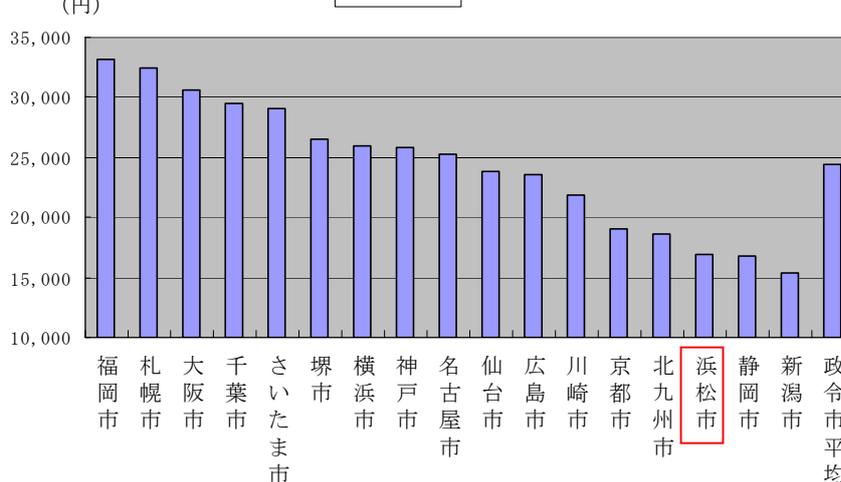
◆政令指定都市水道料金比較 (使用水量 20 m<sup>3</sup>の場合の 1 か月あたり水道料金)

※平成 20 年 3 月 31 日現在

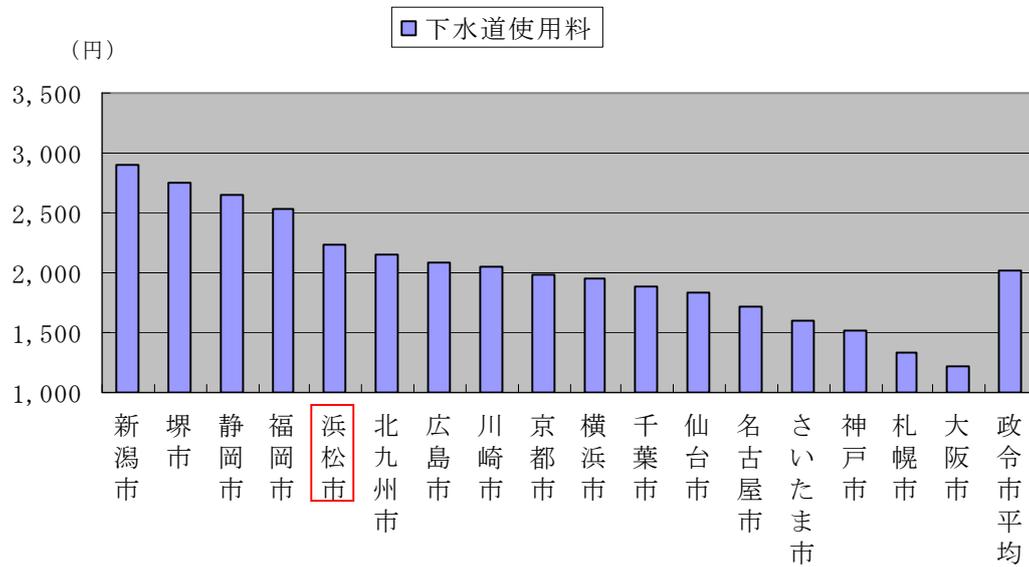


◆政令指定都市水道料金比較 (使用水量 100 m<sup>3</sup>の場合の 1 か月あたり水道料金)

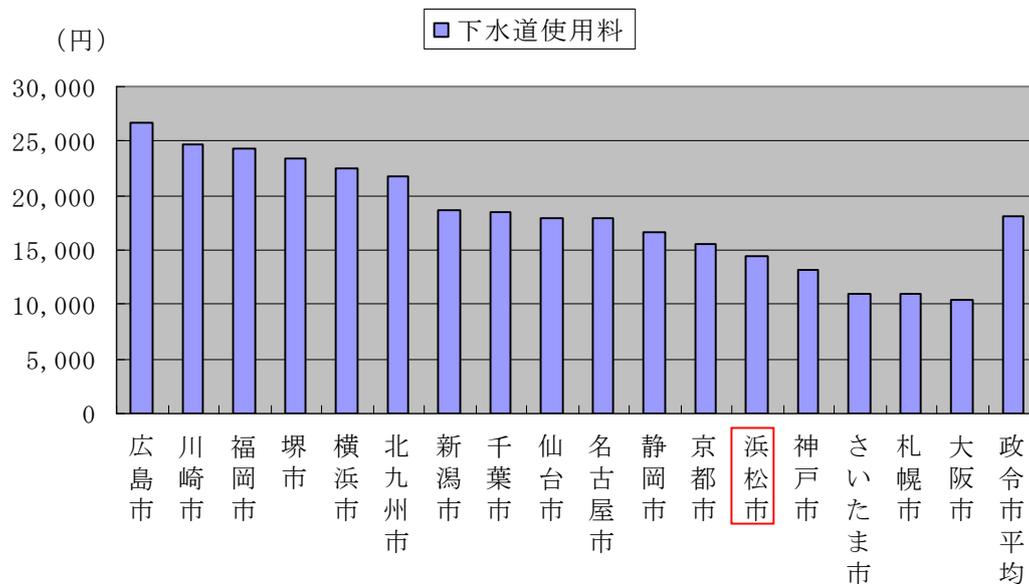
※平成 20 年 3 月 31 日現在



◆政令指定都市下水道料金比較（使用水量 20 m<sup>3</sup>の場合の1か月あたり下水道料金）  
 ※平成 20 年 3 月 31 日現在



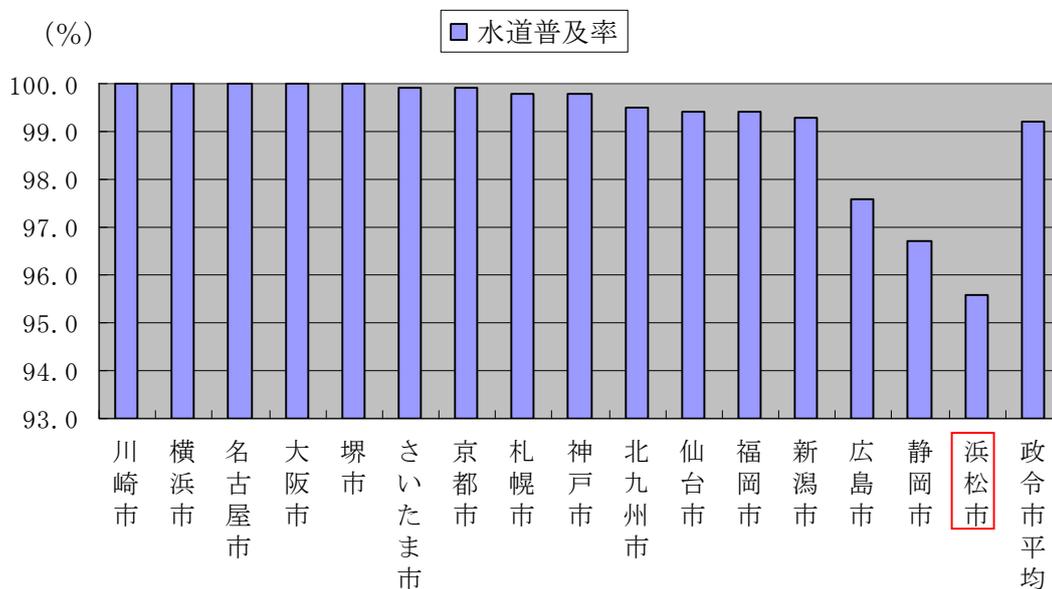
◆政令指定都市下水道料金比較（使用水量 100 m<sup>3</sup>の場合の1か月あたり下水道料金）  
 ※平成 20 年 3 月 31 日現在



◆政令指定都市水道普及率比較

※平成 20 年 3 月 31 日現在（浜松市は平成 21 年 3 月 31 日現在）

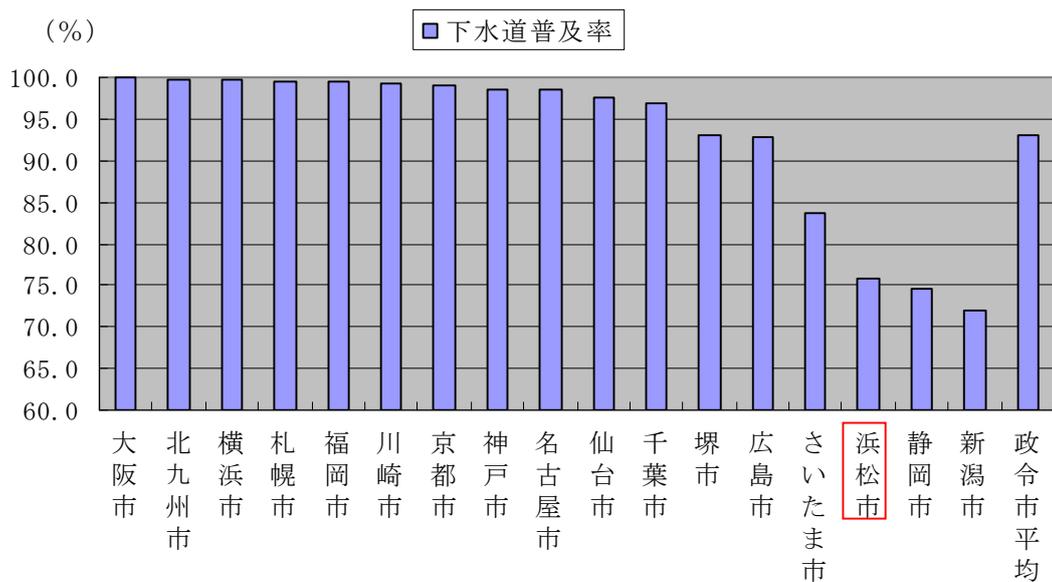
水道普及率 …… 現在給水人口／給水区域内人口



◆政令指定都市下水道普及率比較

※平成 20 年 3 月 31 日現在（浜松市は平成 21 年 3 月 31 日現在）

下水道普及率 …… 現在排水人口／住民基本台帳人口



政策体系

総合計画体系

<都市の将来像>

市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」

<政策の柱>

<分野>

多彩な魅力に会える快適空間都市

都市・生活基盤分野

<基本政策>

<部>

安全で安心な水道水の供給と快適な生活環境を保つための下水道の整備

上下水道部

<政策(重点事業)>

<課>

上下水道事業の経営健全化の推進

上下水道総務課

- 定員管理の適正化(職員数の削減)事業
- 企業債残高の削減事業
- 一般会計繰入金の削減事業【下水道事業】

上下水道に関する市民サービスの充実

お客さまサービス課

- 水洗化促進事業

上下水道料金の適切かつ効率的な賦課・徴収

料金課

- 上下水道料金の収納率の向上事業
- 徴収事務の見直しと電算システムの構築事業

水道施設の建設改良事業の推進

水道工事課

- 安定的な生活用水確保事業
- 水道施設整備改良事業
- 水道施設耐震化改良事業
- 配給水管の維持管理事業

下水道施設の建設改良事業の推進

下水道工事課

- 汚水管きよ整備事業
- 雨水管きよ整備事業
- 管きよ施設の地震対策事業
- 合流式下水道改善事業
- 管きよ施設の改良・修繕事業

浄水施設の適切な管理運営

浄水課

- 効率的な取水及び配水計画
- 適切な管理運営のための設備更新等事業

下水道施設の適切な管理運営

下水道施設課

- 維持管理の民間委託化の推進事業
- 下水道施設整備(修繕・改良・改築・長寿命化)事業
- 温室ガス排出量削減事業

目標

ビジョン実現に向けての目標値(平成 22 年度を目途とする指標)

指標		目標				
		実績				
		H18	H19	H20	H21	H22
1	定員管理の適正化(職員数の推移)	—	214 人	202 人	198 人	190 人
	備考: 年度末の職員数【水道事業】	217 人	211 人	203 人	200 人	
2	定員管理の適正化(職員数の推移)	—	163 人	145 人	131 人	122 人
	備考: 年度末の職員数【下水道事業】	183 人	161 人	141 人	125 人	
3	企業債残高の推移	—	31,409 百万円	30,256 百万円	25,670 百万円	24,506 百万円
	備考: 年度末残高【水道事業】	33,056 百万円	29,139 百万円	26,888 百万円	26,052 百万円	
4	企業債残高の推移	—	191,661 百万円	191,500 百万円	191,265 百万円	190,765 百万円
	上段: 全体		185,479 百万円	183,599 百万円	181,574 百万円	179,767 百万円
	下段: 建設投資分(資本費平準化債除く)	190,376 百万円	190,992 百万円	190,117 百万円	188,680 百万円	
	備考: 年度末残高【下水道事業】	186,258 百万円	184,810 百万円	181,925 百万円	178,148 百万円	
5	普及率の向上	—	95.5%	95.6%	95.7%	95.8%
	備考: 年度末普及率【水道事業】	95.4%	95.5%	95.6%	95.9%	
6	普及率の向上	—	73.9%	74.9%	75.6%	76.4%
	備考: 年度末普及率【下水道事業】	73.3%	74.7%	75.9%	77.1%	
7	水洗化率の向上	—	91.1%	91.7%	92.8%	93.0%
	備考: 水洗化戸数/水洗化可能戸数【下水道事業】	90.9%	91.4%	92.4%	92.9%	
8	収納率の向上	—	99.07%	99.08%	99.10%	99.20%
	備考: 水道料金(簡易水道料金含む)、下水道使用料(農業集落排水処理施設使用料を含む)の3月分納期限到来時の現年度合計収納率	99.06%	99.08%	99.08%	99.10%	

**重点事業**

目標達成に向けて重点的に取り組む手段

①定員管理の適正化(職員数の削減)	所管名	上下水道総務課
《事業概要》	平成 21 年度予算	千円
アウトソーシング実施計画の推進や事務事業の合理化などにより職員定数の削減を図ります。		
市戦略対象事業	—	マニフェスト対象事業 —
《事業成果》	平成 21 年度決算	千円
<p>アウトソーシングの推進や事務事業の合理化・見直しなどにより、職員定数の削減を進めてきました。</p> <p>水道事業では、業務委託による費用対効果が見られないことにより、職員 2 人の削減を見送ったため、平成 21 年度末の職員数 198 人に対し、200 人となり、目標定数に届かなかったものの、下水道事業においては、平成 21 年度末の職員数 131 人に対し、125 人となり、目標定数を 6 人上回ったため、上下水道部全体として、目標を 4 人上回る職員数の削減となりました。</p>		

②企業債残高の削減	所管名	上下水道総務課
《事業概要》	平成 21 年度予算	千円
建設事業の効率的な整備の推進や建設コストの縮減などにより、企業債の借入額を抑制し、建設投資にかかる企業債残高の削減を図ります。		
市戦略対象事業	—	マニフェスト対象事業 —
《事業成果》	平成 21 年度決算	千円
<p>水道事業につきましては、老朽管の布設替工事等による耐震化事業を計画的に展開したことから、企業債の借入れが若干増加し、平成 21 年度末の企業債残高は、平成 20 年度末に対し削減目標としていた 1,218 百万円には届かなかったものの、836 百万円削減の 26,052 百万円となり、着実に減少しました。</p> <p>下水道事業につきましては、効率的な建設投資を推進する中で、積極的に国庫補助事業を活用した結果、平成 21 年度末の建設投資にかかる企業債残高(資本費平準債を除く)は、平成 20 年度末に対し 3,777 百万円削減の 178,148 百万円となりました。</p>		

③普及率の向上	所管名	水道工事課 下水道工事課
《事業概要》	平成 21 年度予算	千円
平成 27 年度末下水道普及率 80%を目指し、管きよや処理場などの施設整備を推進するほか、水道未普及地区の解消を図るため配水管網の整備を行います。		
市戦略対象事業	戦略 4	マニフェスト対象事業 —
《事業成果》	平成 21 年度決算	千円
<p>水道事業では、配水幹線や配水小管の整備を計画的に進め、平成 21 年度末の普及率は、前年度末と比較して 0.3 ポイント増の 95.9%となりました。</p> <p>下水道事業では、管きよや処理場などの整備を計画的に進め、平成 21 年度末の普及率は、前年度末と比較して 1.2 ポイント増の 77.1%となりました。</p>		

④水洗化率の向上	所管名	お客さまサービス課
《事業概要》	平成 21 年度予算	千円
市全体において下水道工事説明会での啓発強化、未接続者に対する水洗化実態調査に加え、戸別訪問による勧奨を実施することなどにより、水洗化率の向上を図ります。		
市戦略対象事業	—	マニフェスト対象事業 —

上下水道部戦略計画 2009 評価レポート

《事業成果》	平成 21 年度決算	千円
<p>未水洗化世帯に対する個別訪問8,800件、郵送での勧奨1,900通のほか、下水道説明会や広報紙による啓発などの水洗化促進対策を実施し、平成 21 年度末の水洗化率は、前年度末と比較して、0.5ポイント増の 92.9%となりました。</p>		

⑤収納率の向上	所管名	料金課
《事業概要》	平成 21 年度予算	千円
<p>早期徴収サイクルの確立、停水の強化、効率的な滞納整理の実施などにより、水道及び簡易水道料金並びに下水道使用料の収納率の向上を図ります。</p>		
市戦略対象事業	—	マニフェスト対象事業
《事業成果》	平成 21 年度決算	千円
<p>事業運営の健全化や公平性の観点から、停水の強化、効率的な滞納整理の実施により、前年度末と比較して 0.02 ポイント増となり、99.10%の目標数値を達成しました。</p>		

【参考】	
<p>◆市戦略計画 2009</p> <p>戦略 1 アジアで一番輝くものづくり都市の創造</p> <p>戦略 2 地域力を結集して取り組む“こども第一主義”</p> <p>戦略 3 暮らし満足度向上計画</p> <p>戦略 4 次世代に継承する天竜川・浜名湖の自然</p> <p>戦略 5 文化が都市の活力を生む「創造都市」の実現</p> <p>戦略 6 世界を身近に感じる交流都市づくり</p>	<p>◆マニフェスト(市長の政策提言)</p> <p>(3つの基本姿勢)</p> <p>I こども第一主義</p> <p>II 暮らし満足度向上計画</p> <p>III 07 浜松改革元年</p> <p>(7つの挑戦)</p> <p>1 子育て世代を全力で応援</p> <p>2 地域一体の教育で未来の浜松をつくる</p> <p>3 住みやすさナンバーワンの「ひとつの浜松」</p> <p>4 安全・安心の医療と介護</p> <p>5 スピードある行財政改革で必要な財源をつくる</p> <p>6 地元産業のさらなる発展を市長みずから先頭に立つ</p> <p>7 トップが動く、浜松が変わる</p>

部局総合評価

指標の達成状況評価と戦略計画の改善策

目標達成状況(指標の平成 21 年度目標達成状況)

	目標より進んでいる	目標どおり	目標より遅れている	計
指標数	5	1	2	8
率(%)	62.5	12.5	25.0	100

《自己評価》(目標達成状況についてどのように考えるか)

上下水道部が定めた指標8項目のうち、「目標より進んでいる」「目標どおり」を合わせると6項目で、達成率75%となりました。

目標未達成である2項目のうち、「定員管理の適正化(職員数の推移)」「【水道事業】につきましては、業務委託による職員削減を検討しましたが、業務内容の見直しやそれに伴う再任用職員の活用の方が、業務委託よりも費用対効果が優れていることの結論を得ました。そのため、職員の削減は達成できなかったものの、経営基盤の強化及び経営健全化の観点から目標は達成したものと考えます。

また、「企業債残高の推移」【水道事業】につきましては、老朽管の布設替工事等の耐震化事業を計画的に遂行するため、企業債を借入れたことで年度末残高の目標を達成できなかったものですが、企業債残高は着実に減少傾向にあります。

今後の考え方(評価を踏まえた戦略・政策についての改善の方針)

地方公営企業である上下水道部は、水という限られた資源を有効に使い、循環型社会として維持発展し、持続可能な社会を構築していくことが求められています。

今後におきましても、安全で良質な水道水を安定供給し、汚水を衛生的に処理していくため、水道事業及び下水道事業ともに、限られた財源を有効に利用できるよう、一層の経営健全化に努めてまいります。

「定員管理の適正化」につきましては、アウトソーシングの推進や事務事業の合理化・見直しなどにより、職員定数の削減、適正化を図ります。

また、「企業債残高の削減」につきましては、建設事業の効率的な整備やコストの縮減などによる借入れの抑制により、企業債残高を削減します。